

# 郡山市気候変動対策総合戦略

## 脱炭素社会の実現とSDGsの達成



国立研究開発法人産業技術総合研究所  
福島再生可能エネルギー研究所



産総研 提供



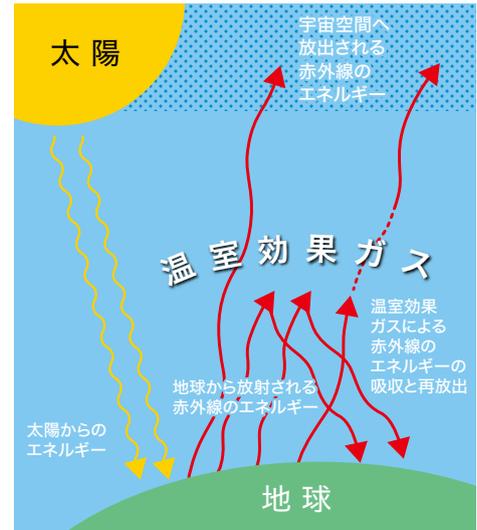
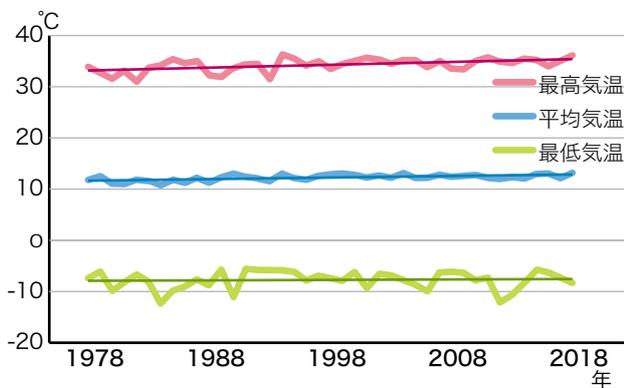
布引風の高原

郡山市観光協会公式SNSアンバサダー@photo\_booooy

## いま、地球温暖化が深刻になっています！

太陽から地球に降り注ぐ光は、地球の大気を素通りして地面を暖め、その地表から放射される熱を温室効果ガスが吸収し大気を暖めています。

近年、産業活動が活発になり、二酸化炭素、メタン、さらにはフロン類などの温室効果ガスが大量に排出されて大気中の濃度が高まり熱の吸収が増えた結果、気温が上昇し始めています。これが地球温暖化です。



地球温暖化の仕組み

【出典】環境省「COOL CHOICE ウェブサイト」

日本の年平均気温は、100年あたり1.15°Cの割合で上昇しており、郡山市においても、郡山地域気象観測所で観測された気温は日最高気温、日平均気温、日最低気温とも上昇傾向にあります。

## 気候変動の影響はすでに現れています！

近年、世界中で強い台風やハリケーン、集中豪雨、干ばつや熱波、寒波といった異常気象による災害が世界中で発生し、多数の死者や農作物への甚大な被害が報告されています。

日本における大雨の発生数が長期的に増加傾向にあり、地球温暖化が進行することにより、激しい竜巻の発生しやすい気象条件が現在から倍増するとの予測がされています。

### 令和元年東日本台風

2019年10月12日に日本に上陸した東日本台風は、関東地方や甲信地方、東北地方などで記録的な大雨となり、甚大な被害をもたらしました。福島県では、郡山市を含む多くの自治体において、阿武隈川流域の多くが河川の氾濫などにより、大きな被害を受けました。

この東日本台風によって、郡山市では気候変動を意識した取り組みを進める必要性を改めて感じるきっかけとなりました。

河川の氾濫で浸水した郡山市内の様子



写真：陰山建設株式会社

# これまでの取り組み

「郡山市地球温暖化対策実行計画《区域施策編》」、「第五次環境にやさしい郡山市率先行動計画」そして「郡山市エネルギービジョン」の3つの計画を軸に地球温暖化対策を推進してきました。これら計画の評価を踏まえ、以下の3つの方向性を持って地球温暖化対策を推進していくことが望ましいと考えられます。



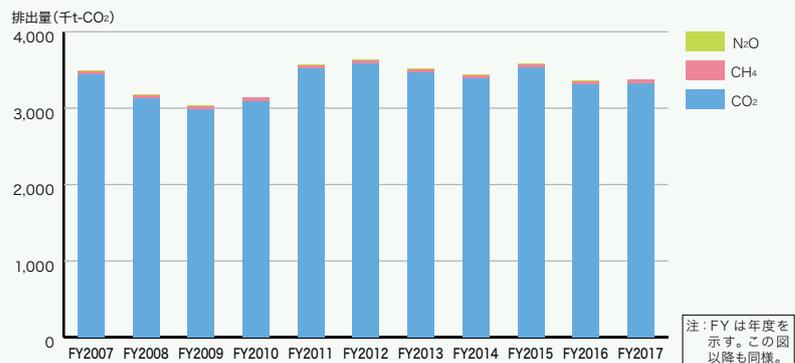
- 将来における脱炭素社会の構築を見据え、市民・事業者等と連携し、地域経済の発展や市民生活の向上と地球温暖化対策との両立を実現
- 地域経済の発展や市民生活の向上に係る一つの施策として、再生可能エネルギーを中心としたエネルギーの地産地消や地域資源の循環を推進
- 気候変動リスクに対応する安全安心なまちづくりの推進

## 温室効果ガス排出量、電力消費量、再エネ導入量

### 郡山市気候変動対策実行計画《区域施策編》

#### ●市内の温室効果ガス排出量

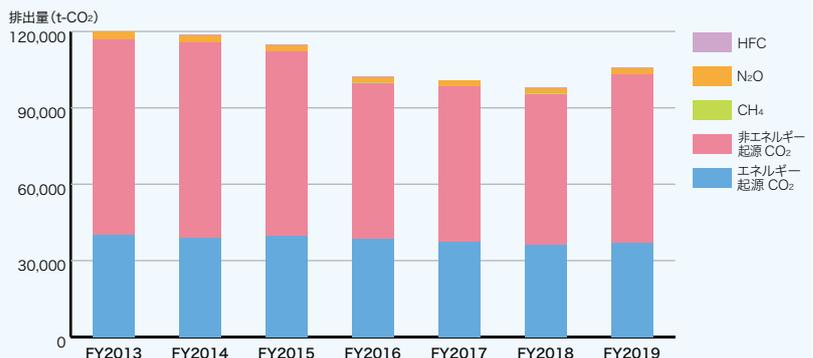
目標：2020(平成 32)年度までに  
2007(平成 19)年度比で 25%削減  
実績：2017(平成 29)年度 3.2%削減



### 第五次環境にやさしい郡山市率先行動計画

#### ●温室効果ガス排出量

目標：2020(平成 32)年度までに  
2013(平成 25)年度比で 16%削減  
実績：2019(令和元)年度 11.9%削減



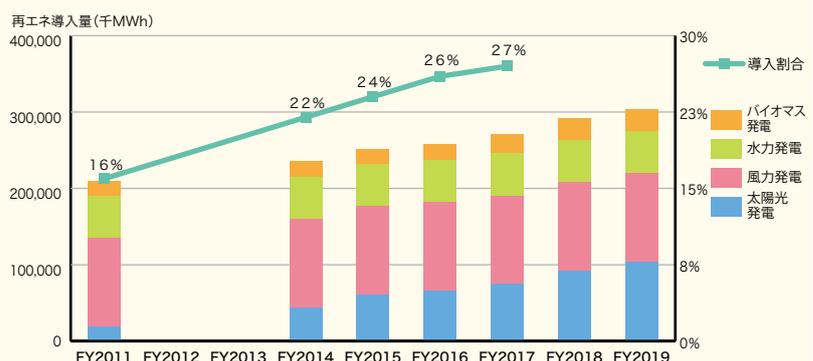
### 郡山市エネルギービジョン

#### ●電力消費量

目標：2020(平成 32)年度までに  
2011(平成 23)年度比で 20%削減  
実績：2016(平成 28)年度 26%の削減

#### ●再エネ導入量 (電力消費量に対し)

目標：2020(平成 32)年度 30%  
実績：2017(平成 28)年度 26%



# 総合戦略の将来像

## Carbon Neutral City Koriyama

- パリ協定以降の国内外の動向、「脱炭素」、「SDGs未来都市」を踏まえ、郡山市の将来像として「**脱炭素社会の実現とSDGsの達成**」を強調。
- 地球温暖化対策と経済・社会の活性化の「**地域経済の牽引**」、気候変動影響に対応するレジリエントな「**ゆるぎない強靱な都市**」を掲げる。
- 世界規模で取り組むべき「**脱炭素社会の実現**」に向け、炭素実質ゼロの国際的な共通認識の単語である「**Carbon Neutral**」を用い表現。



# 温室効果ガス排出削減目標

## 将来像における目標

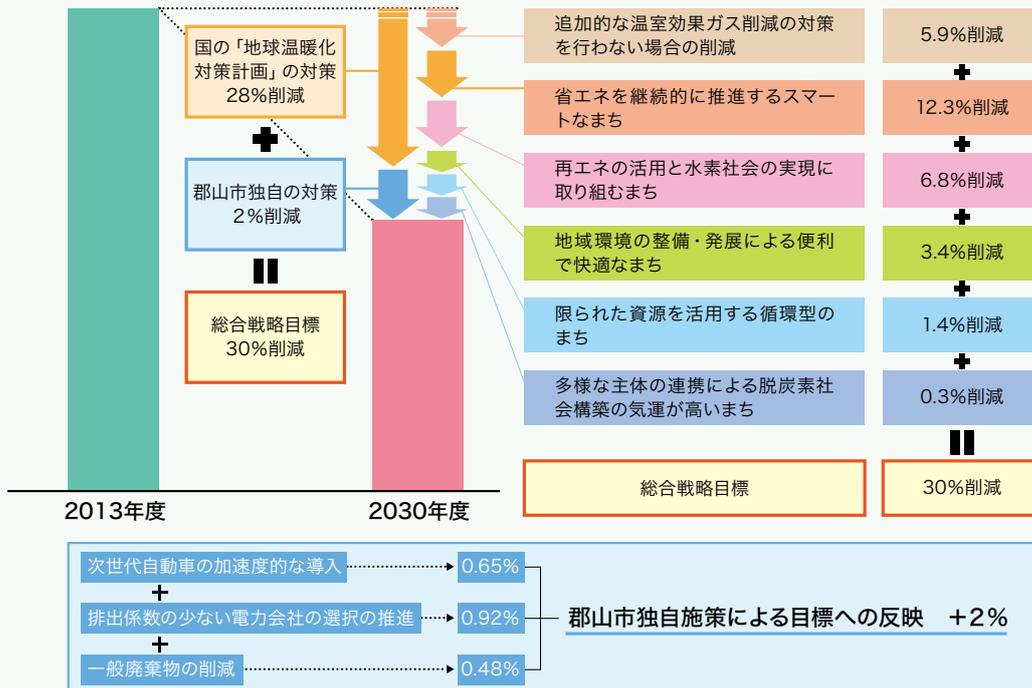
2030年度(中期目標)：2013年度比30%削減  
2050年度(長期目標)：2013年度比100%削減\*

※ 実質ゼロ

※国の削減目標  
26%削減  
80%削減

## 削減目標設定のイメージ

柱ごとに施策・対策の成果目安の積み上げを設定する。



# 総合戦略の基本的事項

## 戦略の位置付け

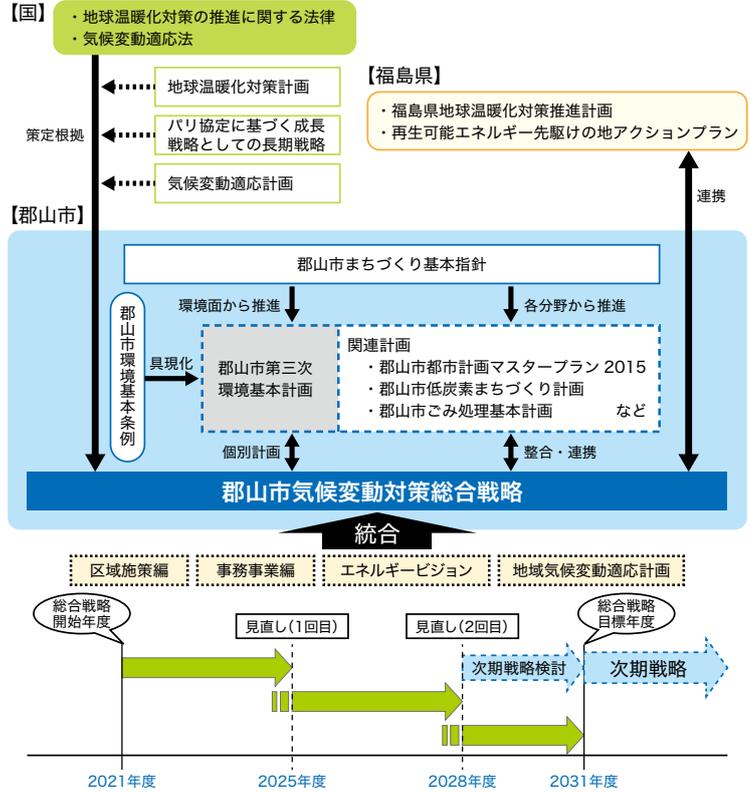
- ▶ 「郡山市第三次環境基本計画」の地球温暖化対策に関する具体的な個別計画
- ▶ 地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づく地方公共団体実行計画
- ▶ 気候変動適応法第12条に基づく地域気候変動適応計画

## 基準年度及び目標年度

基準年度	2013年度
目標年度	(中期) 2030年度
	(長期) 2050年度

## 推進体制・進捗管理

- ▶ 郡山市地球温暖化対策推進本部による庁内推進体制の一元化
- ▶ 郡山市環境審議会との連携
- ▶ PDCAサイクルによる進行管理
- ▶ 4年(市長任期)ごとの見直し



# 施策体系と施策のポイント

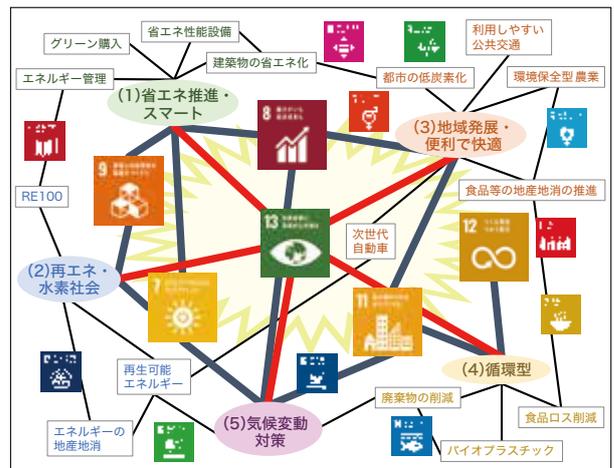
## 施策体系

### リゾーム型施策体系

各施策体系の施策は、一つの施策から一方向に展開する「ツリー型」ではなく「リゾーム型」として有機的に関連し合い、相乗効果を発現することで効果的・効率的な将来像の実現を目指す。

### 施策のポイント

- ▶ 市民、事業者、行政の役割を明確化
- ▶ 施策、対策における効果を可視化
- ▶ バックキャスト思考を活用した施策、対策の展開
- ▶ リゾーム型施策体系によるマルチベネフィットの提示
- ▶ 新型コロナの影響による社会・経済の変化と非接触型等5レスを活用したDX※の実現



※ DX(デジタルトランスフォーメーション)…デジタル技術が進化し、人々の生活をより豊かにすること。

# 目標達成に向けたロードマップ

## 総合戦略の目標

(1) 省エネを継続的に推進する  
スマートなまち

**12.3%削減 (434千t-CO<sub>2</sub>)**

区域施策編

【2013年度】52%

区域施策編

【2013年度】0%

事務事業編

【2019年度】29校

(2) 再エネの活用と水素社会の  
実現に取り組むまち

**6.8%削減 (239千t-CO<sub>2</sub>)**

区域施策編

【2013年度】27%

区域施策編

【2019年度】2件

事務事業編

【2019年度】20施設

(3) 地域環境の整備・発展による  
便利で快適なまち

**3.4%削減 (120千t-CO<sub>2</sub>)**

区域施策編

【2013年度】11%

区域施策編

【2019年度】1204.08万人

事務事業編

【2019年度】8%

(4) 限られた資源を活用する  
循環型のまち

**1.4%削減 (51千t-CO<sub>2</sub>)**

区域施策編

【2016年度】1,141g/人・日

事務事業編

【2013年度】7,300t

区域施策編

【2019年度】29店

区域施策編

【2019年度】30%

(5) 気候変動影響に適応し  
安心して暮らせるまち

適応計画編

【2019年度】6件

(6) 多様な主体の連携による脱炭素社会構築の  
気運が高いまち

**0.3%削減 (11千t-CO<sub>2</sub>)**

区域施策編

【2017年度】2,402人

区域施策編

【2019年度】135件

区域施策編

【2013年度】17社

(7) イノベーションの牽引と地域経済活性化のまち

区域施策編

【2019年度】1件

## 重要業績評価指標 (KPI) の設定

### ○新築住宅の省エネ基準適合率

→ 【2024年度】 85% → 【2028年度】 95% → 【2030年度】 100%

### ○市内の消費電力量の省エネルギー率

→ 【2024年度】 21% → 【2028年度】 26% → 【2030年度】 30%

### ○屋内運動場照明改修件数（累計）

→ 【2024年度】 41校 → 【2028年度】 47校 → 【2030年度】 51校

### ○市内の電力消費量に占める再生可能エネルギー発電量の割合

→ 【2024年度】 43% → 【2028年度】 47% → 【2030年度】 50%

### ○水素ステーションの設置数

→ 【2024年度】 3件 → 【2028年度】 4件 → 【2030年度】 5件

### ○再生可能エネルギー設備を導入した公共施設数（累計）

→ 【2024年度】 36施設 → 【2028年度】 45施設 → 【2030年度】 50施設

### ○新車販売台数に占める次世代自動車の割合

→ 【2024年度】 70% → 【2028年度】 82% → 【2030年度】 90%

### ○公共交通利用者数（電車・バス）

→ 【2024年度】 1250.68万人 → 【2028年度】 1268.78万人 → 【2030年度】 1281.03万人

### ○公用車における次世代自動車の割合

→ 【2024年度】 42% → 【2028年度】 60% → 【2030年度】 70%

### ○市民1人当たりの1日のごみ排出量

→ 【2024年度】 952g/人・日 → 【2028年度】 887g/人・日 → 【2030年度】 847g/人・日

### ○一般廃棄物であるプラスチック類の焼却量

→ 【2024年度】 6,580t → 【2028年度】 6,400t → 【2030年度】 6,300t

### ○市内の食べ残しゼロ協力店数（福島県事業）

→ 【2024年度】 56店 → 【2028年度】 70店 → 【2030年度】 80店

### ○市民のエコバックの持参率

→ 【2024年度】 60% → 【2028年度】 80% → 【2030年度】 90%

### ○市の事務事業における適応策の実施数

→ 【2024年度】 14件 → 【2028年度】 17件 → 【2030年度】 20件

### ○クールチョイスの累計賛同者数

→ 【2024年度】 65,000人 → 【2028年度】 85,000人 → 【2030年度】 100,000人

### ○環境アプリのダウンロード数（累積）

→ 【2024年度】 1,200回 → 【2028年度】 1,700回 → 【2030年度】 2,000回

### ○市内の福島議定書に参加する事業者数（福島県事業）

→ 【2024年度】 76社 → 【2028年度】 90社 → 【2030年度】 100社

### ○市内における行政と連携したプロジェクト・実証実験等の数

→ 【2024年度】 3件 → 【2028年度】 4件 → 【2030年度】 5件

# Carbon Neutral City Koriyama



— 開成山公園 —



— 布引風の高原 —



— 緑水苑 —



— 秋山浜 —

郡山市気候変動対策総合戦略

2021年(令和3年)3月

郡山市